

意見を書こう（書くこと）

1 ねらい

- ・ 新聞の投書記事に対して、それぞれの意見の主張の根拠をはっきりさせて“反論文”を書く。

2 学習計画（6時間扱い）

次	学習活動と内容	手立て・資料
1 (2)	“反論文”の基本的な書き方を知る ・教科書の学習材文を読んで、“反論文”の基本的な書き方を学習する。	・教科書の学習材文 ・ワークシート
2 (2)	反論する新聞の投書記事を選ぶ ・自分で持ち寄った新聞や、新聞データベースを活用して、反論する投書記事を選ぶ。	・新聞 ・新聞データベース(KD)
3 (2)	実際に反論文を書く ・選んだ投書記事と同じ書式で、ワープロで清書する。 ・出来上がった文章を推敲し、発表（投書）する。	・選んだ投書記事 ・原稿用紙

3 新聞データベース活用の効果

新聞などの投書記事に対して、自分の意見の根拠をはっきりさせた上で、“反論文”を書く、作文の单元である。

教科書の学習材を読んで、意見文に対する“反論文”の書き方を学習した後、さっそく自分の

意見を書く段階となるが、教科書では、「新聞の投書などで賛成できない意見があったら、例にならって反論の意見文を書いてみよう。」というまとめの課題が提示してある。

本来であれば、生徒それぞれが各家庭等で新聞記事を探し、見つけて持ってくるような形で授業が進められていくこととなるが、短期間のうちに、新聞の中から自分の興味・関心に見合った記事を手に入れることは、物理的にもタイミング的にも、なかなか難しいのではないかと考えられる。

そこで、新聞データベースを活用して、生徒それぞれが持っている興味・関心に応じた内容の投書記事を探し出せるようにした。新聞データベースであれば、同じテーマの記事を過去にさかのぼって検索することができ、さらに地域や年齢などの条件も限定して絞り出すことができる。

生徒は、それぞれが興味・関心を持ったテーマのキーワードをもとに、新聞の投書記事を検索し、疑問を感じた記事については、同様の意見の記事や、反論の記事を参考にした上で、自分なりの意見をもって“反論文”を書き上げることができた。

【使用した記事の例】

- ・ 英語教育の小学校導入について
- ・ 列車やバスの中での座席の譲り合いについて
- ・ 女子の制服へのズボンの採用について
- ・ 男女共学と別学について
- ・ 高校の学区制廃止について
- ・ その他